

1. 件名：福島第一原子力発電所における1／2号機排気筒及びSGTS配管の内部調査に係る面談
2. 日時：令和2年2月20日（木）13時35分～14時10分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
長官官房総務課国際室
安井原子力規制特別国際交渉官
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、岩永企画調整官、木原管理官補佐、星主任研究調査官、知見主任
安全審査官
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当5名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所における1／2号機排気筒及び非常用ガス処理設備（以下「SGTS」という。）配管の内部調査について、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ 背景

- ✓ 昨年11月に発生した1／2号機排気筒ドレンサンプピットの水位低下事象に関連した懸念事項として、ドレンサンプピット水の放射能濃度が雨水で希釈されているにもかかわらず高濃度のまま継続している状況がある。
- ✓ 上記の原因として、排気筒に接続しているSGTS配管から高濃度の水が流入している可能性があるかと推測している。

➤ 対策方針

- ✓ SGTS配管の内部調査を実施し、SGTS配管からの水の流入状況を確認するとともに、内部サンプリングを実施する。
- ✓ 上記の調査により状況を把握した後、排気筒とSGTS配管の接続を切り離すことを計画する。

➤ SGTS配管内部調査の詳細について

- ✓ 排気筒に接続されている2号機オフガス系配管をせん孔し、カメラを用いてSGTS配管からの水の流入状況を確認するとともに、スミア採取を行い内部の汚染状況を確認する。
- ✓ 作業概要、ダスト対策、被ばく低減対策及び想定被ばく量

➤ 工程（案）

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、

- せん孔時の安全対策や具体的な調査方法について、特定原子力施設監視・評価検討会で説明すること
 - 事故分析に資するデータの取得についても検討の上、具体的な方針と方法について説明すること
- を求めた。

6. その他

資料： 1 / 2号排気筒ドレンサンプルピットの水位低下事象対策をふまえたSGT
S配管内部調査実施